

台風19号等被害の早期復旧を赤羽国交大臣に緊急要請 ～政策推進私鉄国会議員懇談会が労使にヒアリング～

2019. 11. 11

総合政策局



政策推進私鉄国会議員懇談会は11月11日、9月の台風15号、10月の台風19号等で甚大な被害を被った鉄軌道・バスの労使に対して、被災状況と必要とする支援についてヒアリングを行い、同日午後より赤羽国土交通大臣に早期復旧に向けた支援を要請した。

10時から行われたヒアリングは、森屋隆参議院議員の「被災した職場から復旧に不安の声があり、緊急でヒアリングと要請を行うこととした。国に対して現状と復旧に向けて必要となる支援を率直に要望してほしい」との挨拶で開会した。続いて、政策推進私鉄国会議員懇談会会長・鉢呂吉雄参議院議員から「私の地元北海道でも日高本線が2015年集中豪雨、2016年に台風で大きな被害を受け、そのときも国は早期復旧を全力で支援すると言っていたが、未だに復旧していない。今回被災した職場の皆さんの不安は良く理解できる。そうした不安を払拭できるように取り組んでいきたい」と挨拶した。続いて、田野辺委員長からは「私鉄の組合員は自らが被災していても、早期の運行再開、復旧に向けて取り組んでいる。そうした組合員の努力に報いて欲しい」と要望した。この後、福島交通、阿武隈急行、千葉グリーンバス、箱根登山鉄道、上田電鉄の事業者、労働組合から、それぞれの被害状況と要望が述べられた。またヒアリングには、日本民営鉄道協会、日本バス協会も出席した。

被害状況と要望を受け国土交通省の各担当からは、「原因も究明しながら再発防止も含めて対策を講じていきたい」「バス代替輸送経費についてもあらゆるパッケージを組み合わせて支援したいと考えている」などの回答であった。

こうした回答を受け、政策推進私鉄国会議員懇談会の辻元清美衆議院議員、道下大樹衆議院議員、舟山康江参議院議員、杉尾秀哉参議院議員からは特に「レスポンスビリティを上げて対応を」と早期復旧にむけた支援強化を求めた。また、被災地が選挙区の羽田雄一郎参議院議員、金子恵美衆議院議員からも支援強化が要望された。



13時15分からは、赤羽一嘉・国土交通大臣に早期復旧・復興に関する申し入れをおこなった。はじめに、①代行バス路線に対する財政支援、②河川整備、下水道管整備・強化、③今回の被災で自治体財政も逼迫しているため、自治体への支援策の強化など各労使が被災状況の説明と早期の復旧のための支援要請をおこなった。



随行議員からは、復興への時間がかかるほど町が疲弊してしまい過疎化が進んでしまう。いつまでに何をおこなうのか復旧行程などを示し、スピーディな対応をしていただきたい、と求めた。

赤羽国土交通大臣からは「地域の公共交通を全力で守らなければならない、激甚災害の指定を受け、総合的な対応が図れるように進めていきたい。」と前向きな回答が述べられた。

以 上